

キャリアアクション通信

2022/03/24 学習指導部

1 学年地域との交流②

2 学期から 3 学期にかけて、多くの分野が、地域の課題解決のための活動を行いました。また、ポスター等の作成により、地域の課題の発信も行いました。地域の方々のご協力のおかげで、「地域とのかかわりを通し、社会の一員としての役割を自覚すること」というこのプロジェクトのねらいの 1 つを達成することができました。2 年次も引き続き、自らの進路(career)に向けて主体的に行動(action)することを目指します。

◆情報分野

1 2 月 1 6 日 (木)

情報分野(代表の 3 班・1 1 名)が小山市立豊田南小学校を訪問し、「情報モラル教室」を開催しました。やや緊張もありましたが、徐々に発表を楽しむ様子が見られました。班ごとに練習を重ねてきたこともあり、多少の反省点はありながらも、満足のいく発表となりました。小学生のみなさんが興味を持って聞いてくれたことや、自分の考えを積極的に発表してくれたことに喜びを感じ、またぜひ交流したいという感想もありました。情報に関する知識を正しく理解してもらい、ネット上のトラブルを回避し、上手に活用してもらいたいという思いを伝えることができました。



◆まちづくり分野

1 月 2 5 日 (火)

1 学年まちづくり分野の各グループの代表者 4 名が、小山市教育委員会の方々に、次年度より使用されなくなる豊田南小学校の校舎の活用方法について、プレゼンテーションを行いました。宇都宮大学石井大朗准教授のご指導や豊田南小学校のご協力により、グループ毎に地域の活性化を目指した様々な活用方法を考えました。今回それらをまとめたものを企画書として教育委員会に提案することができました。4 グループがそれぞれ工夫を凝らした企画書となりましたが、高校生らしい視点で、多世代が交流できる場にしたいという共通した想いで作成しました。1 つでも採用されることを願っています。

※この活動は、1 月 3 0 日下野新聞全県ワイド版に掲載されました。



◆国際分野

国際分野(2 4 名)が「小山市における国際事情」についての研究報告をポスターにて行いました。各グループがそれぞれ小山市に住む外国人のサポート体制や課題について、教育、医療、交流の場など様々な場面に応じて調査し、まとめました。研究の過程において課題が明確になり、高校生としてできることを考えました。このポスターは、本校の 1 学年のフロアに掲示してありますが、小山市立豊田南小学校、豊田北小学校においても掲示をしてもらっています。小学生にも広く知ってもらい、課題を共

有していきたいと考え、小学生にもわかりやすい表記や図など、工夫を凝らした仕上がりとなっています。

校内発表会

これまでの研究成果を、1 学年はグループで、2 学年は個人での発表を行いました。



◆1 学年

1 月 2 4 日 (月) 6, 7 限

5 月より 9 つの分野に分かれ、大学の出前授業や地域の小学生との交流を行ってききましたが、その集大成として、活動の様子やそれらを通して学んだことなどについて、パワーポイントを用いた発表を行いました。各分野 3 ~ 5 のグループに分かれ、グループ毎の発表を 4 会場で行いました。生徒たちは緊張しながらも、協力し合い発表することができました。また、他の分野の研究発表を視聴したことで、多くの発見がありました。

2 年次では進路や興味関心に応じた課題を設定し、個人での研究へと発展させます。



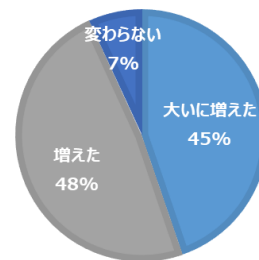
◆2 学年 1月31日（月）6，7限

2 学年は、進路や興味関心に応じた課題を設定し、個人での研究を進めてきました。研究の成果をポスターにまとめたものを全員が同級生や1 年生に向けて発表をしました。感染症対策のため10 会場に分かれての実施となりましたが、どの教室においても、図やグラフを丁寧に説明する姿や、活発に意見交換をする姿がありました。ポスターには、テーマに関する地域の課題や進路実現に向けての決意が含まれており、進路についてより深く考えるきっかけとなりました。1 年生が見学に来た中、上級生として立派な発表でした。



「ポスター発表会を終えて」「主体性・探究力・発信力」といった力を身に付けることを目標に、2 年次のプロジェクトを進めてきました。発表会後のアンケートでは、「キャリアアクションプロジェクトを通して、自分で課題を見つけ、調べる方法を検討し、調べ、自分で解決する能力が備わったと感じますか？」の質問に、「大いに感じる・少し感じる」と回答した生徒が97.89%、また「自分が取り組んできたことを自分の言葉で表現することができたと思いますか？」の質問に、「できた・少しできた」と回答した生徒が97.89%でした。さらに、右のグラフも含め、ほとんどの生徒が目標を達成し、発表会を機に進路意識を高めることができたようです。次年度の進路実現に向け、さらに研究を深め、粘り強く学習や進路に向き合ってほしいと思います。

キャリアアクションプロジェクトを通して、
自分の進路について考える機会が増えましたか？



◆1 学年「キャリアアクション事後アンケート」 (回答 197 名)

	はい	どちらかと言えははい	どちらかと言えはいいえ	いいえ
キャリアアクション・プロジェクトを通して、自ら考え、行動することができるようになりましたか。	125 (63.45%)	68 (34.52%)	4 (2.03%)	0 (0%)
キャリアアクション・プロジェクトを通して、あなたは他と協力して物事に取り組むことができましたか。	159 (80.71%)	38 (19.29%)	0 (0%)	0 (0%)
キャリアアクション・プロジェクトを通して、相手のことを考えて、行動することができるようになりましたか。	149 (75.63%)	47 (23.86%)	1 (0.51%)	0 (0%)
キャリアアクション・プロジェクトを通して、あなたは自分の考えを相手に伝えることができましたか。	127 (64.47%)	67 (34.01%)	2 (1.02%)	1 (0.51%)
キャリアアクション・プロジェクトの活動で地域に貢献することができましたか。	89 (45.18%)	57 (28.93%)	37 (18.78%)	14 (7.11%)
キャリアアクション・プロジェクトを通して、自分の進路について考える機会が増えましたか。	122 (61.93%)	62 (31.47%)	12 (6.09%)	1 (0.51%)
キャリアアクション・プロジェクトの活動について、あなたは頑張った、よくできたと思う。	125 (63.45%)	64 (32.49%)	7 (3.55%)	1 (0.51%)

バーと意見交換したり、話し合ったりできて仲間も深まりました。●色々な人達に発表することで、伝える力や自信を持って意見を言う力がついたと思う。●高校に入学して同じ将来の夢を持つ人と一緒に活動に取り組むということが新鮮でした。他の人と協力する力、自分を表現する力、協調性など身に付いたと思います。●自分から行動を起こすことの大切さや、人との関わり方などを学ぶことが出来ました。●自分の調べた分野はもちろん、違った分野も学ぶことが出来ました。●一人一人が小さなことから、行動することが大切だと思いました。●自分達でやることを考えて計画し、それを実行する難しさを改めて実感することができました。また、少しでも地域のために貢献することが出来て良かったです。●キャリアアクションを通して、地域の課題に目を向けることができて良かったです。また、これからの社会を支えていく私達が出来たことを考え、グループ内で話すことが出来ました。●これから自分の進路実現に向けて頑張っていきたい。●栃木県全体や小山市の今の課題を知り、改善点などを考えて地域に目を向ける良い機会になりました。●自分の興味のある職業や分野について詳しく知り、他の分野についても知ることが出来ました。地域のためにできることなども考えることが出来たので、それをこれからの生活に活かしていきたいです。●地域の小学生との交流で、小学生の意見から新しい課題などが分かり、地域との関わり方について深く考えられました。●キャリアアクションを通して、自ら考えて行動したり、友達と協力したり、また地域との関わりについて考えを深めることができた。

1 学年の感想 ●進路の視野が今までより広がった気がしました。

また、いろいろな分野の中で様々な仕事がある事を知りました。●身近な問題がいろいろあることがわかった。一人ひとりが小さな努力をすれば課題解決に繋がると思った。●このプロジェクトを通して自分の住んでいる地域、国際的な課題など様々な視点から物事を見るようになりました。来年はもっと実際に活動できる場所を増やしたりして、もっと地域に密着した取り組みが出来れば良いと思います。●今回の活動を通して、自分の進路に向き合い、真剣に考えることも出来ました。●1年間のキャリアアクションの活動を通して、友達と協力するということ、率先して活動するということを知りました。●自分は地域に貢献するために何が出来るのかをよく考え、行動することができた。それに加えて、行動に移すためにやるべき課題を積極的に見つけて取り組む大切さを学べた。●課題を見つけるだけでなく、解決のための活動できたのでとてもいい機会でした。●私たちにもできることがたくさんあることを知ることができ、地域貢献に向けて行動していきたいと思いました。●身近に潜んでいる課題を自ら探し、解決を目指すよう、少しのことでも行動することが大切だと考えた。アクションを起こせた達成感もあった。2年では1年でのキャリアアクションを基盤として、さらに将来に繋がる活動にしていきたい。●同じグループの人と協力して活動することの大切さも感じる事が出来たので良かった。

●自分の知らないことが多くて、調べるのが楽しかったです。班のメン

おわりに 1 学年は、地域の方々との交流やグループでの活動を通して、協働力や寛容性を学ぶことができました。2 学年は、個人での活動を通して身に付けた主体性や探究力が、今後の進路や学習に向かう原動力となるはずです。3 年次では、進路先のアドミッションポリシー研究等を通して、進路プレゼンテーションの準備を進めていきます。1 年間を通して、1 人ひとりがプロジェクトに真摯に取り組み、様々な経験を通して成長していく姿を見せてくれました。小西生の可能性を強く感じました。次年度の活躍も大いに期待しています。(学習指導部 早川)